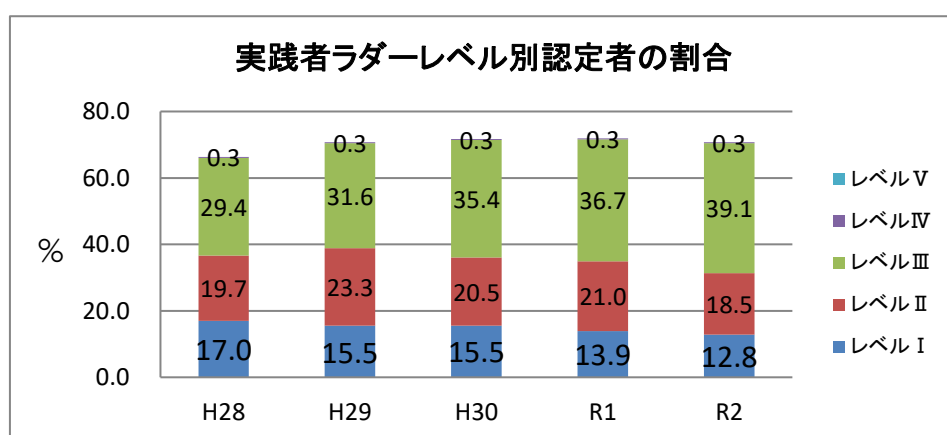


Part II 赤十字関連の看護の質評価指標

H キャリア開発ラダーレベル別認定者

22. 実践者ラダーレベル別認定者の割合

実践者ラダー導入は、組織の理念に基づいた赤十字看護の質向上と専門職としての看護師の職務満足促進を主たる目的とし、人事交流を促進し、赤十字全体の質向上が期待されています。よって、実践者ラダーレベル認定者数を知ることにより、間接的に提供されている看護の質を推測できます。



実践者ラダーレベル別認定者割合 (%)	H28	H29	H30	R1	R2
レベルⅠ	17.0	15.5	15.5	13.9	12.8
レベルⅡ	19.7	23.3	20.5	21.0	18.5
レベルⅢ	29.4	31.6	35.4	36.7	39.1
レベルⅣ	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
レベルⅤ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
実践者ラダーレベル別認定者 (人数)	H28	H29	H30	R1	R2
レベルⅠ	107	97	94	85	79
レベルⅡ	124	146	124	129	114
レベルⅢ	185	198	214	225	241
レベルⅣ	2	2	2	2	2
レベルⅤ	0	0	0	0	0
看護職員数	630	626	605	613	616

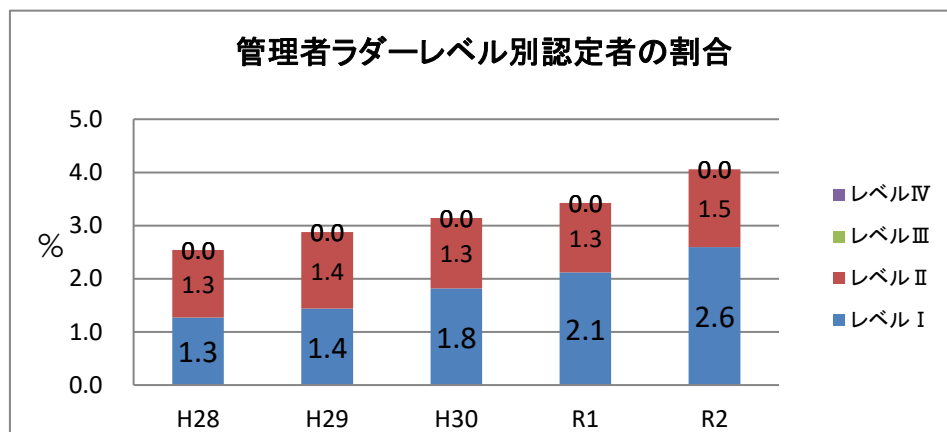
分子：在職している看護職員 1 人につき実践者ラダー既得レベルの一番高いもののみのカウント数

分母：看護職員総数（看護管理者、嘱託・臨時・パートタイマーを含む）
×100 (%)

※8月31日時点の人数である。

23. 管理者ラダーレベル別認定者の割合

管理者ラダー導入は、赤十字の7原則に基づいた組織理念の具現化をめざして看護の質を高め、自らのキャリア開発を自律して行うことができる看護管理者を育成することを目的としています。よって、管理者ラダーレベル認定者数を知ることにより、間接的に提供されている看護の質を推測できます。



管理者ラダーレベル別認定者割合 (%)	H28	H29	H30	R1	R2
レベル I	1.3	1.4	1.8	2.1	2.6
レベル II	1.3	1.4	1.3	1.3	1.5
レベル III	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
レベル IV	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
管理者ラダーレベル別認定者 (人数)	H28	H29	H30	R1	R2
レベル I	8	9	11	13	16
レベル II	8	9	8	8	9
レベル III	0	0	0	0	0
レベル IV	0	0	0	0	0
看護職員数	630	626	605	613	616

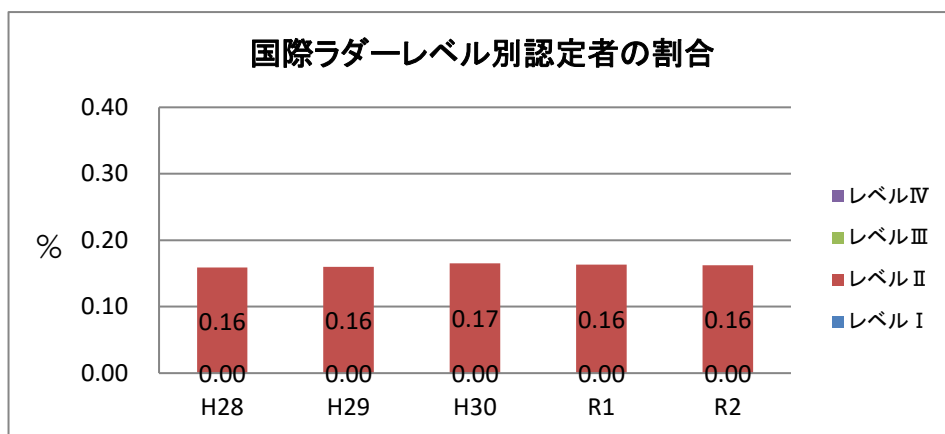
分子：在職している看護職員 1 人につき管理者ラダー既得レベルの一番高いもののみのカウント数

分母：看護職員総数（看護管理者、嘱託・臨時・パートタイマーを含む）
×100 (%)

※8月31日時点の人数である。

24. 国際ラダーレベル別認定者の割合

国際ラダー導入は、日本赤十字社の多くの看護職が、国際人道援助を遂行し、国際貢献できることが期待されていることから、その人材を育成することを目的としています。よって、国際ラダーレベル認定者数を知ることにより、国際的な人道ニーズに応える人材育成や国際貢献状況を推測できます。



国際ラダーレベル別認定者割合 (%)	H28	H29	H30	R1	R2
レベル I	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
レベル II	0.16	0.16	0.17	0.16	0.16
レベル III	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
レベル IV	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
国際ラダーレベル別認定者 (人数)	H28	H29	H30	R1	R2
レベル I	0	0	0	0	0
レベル II	1	1	1	1	1
レベル III	0	0	0	0	0
レベル IV	0	0	0	0	0
看護職員数	630	626	605	613	616

分子：在職している看護職員 1 人につき国際ラダー既得レベルの一番高いもののみのカウント数

分母：看護職員総数（看護管理者、嘱託・臨時・パートタイマーを含む）
×100 (%)

※8月31日時点の人数である。